

# 掛東学園だより

平成29年8月号  
発行 掛東学園  
担当 掛川市立西山口小学校  
すこやかこども園

一園学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょうー  
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり幼保・すこやか幼保・智光幼・掛川特別支援学校・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

## 掛東学園全体会が開催されました

H29年度は、西山口小学校が事務局を担当します。これまでの「笑顔で挨拶」「わんわんわん運動」を共通の取組として継承し、地域の子どもたちの健やかな成長のために、掛東学園内の地域の皆様と園・学校が連携して教育活動を展開していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

さて、6月17日(土)には、H29年度掛東学園子ども育成支援協議会全体会が東中学校の体育館で行われました。

全体会では、会長の岩本克治さんや来賓の方々から御挨拶をいただき、その後、4人の地域コーディネーターの皆さんの自己紹介や掛川市教育委員会教育政策室の横井和好指導主事からの学園化構想の説明がありました。

コーディネーターの皆さんからは、各地区での取組の様子が紹介されました。また、福田様からはコーディネーターを代表して、子ども育成支援協議会の組織やその働きについて、プレゼンを使った丁寧な説明をしていただきました。



4人の地域コーディネーターのみなさん

### 地域コーディネーター

福田浩文さん(掛東中、智光幼) 宮本民雄さん(掛一小、ひだまり)  
青嶋利雄さん(上内田小) 兵藤嘉男さん(西山口小、すこやか)

### 横井指導主事より

掛川市の教育の宝は3つあります。①かけがわ教育の日②掛川お茶の間宣言③中学校区学園化構想です。「地域の教育力を園・学校に取り込み教育に様々な効果をもたらす」のが学園化の目的です。学園化が進み、H28の学校ボランティア参加者数は延べ12万人と掛川市人口を超えました。

これからの時代では、周りの状況の変化や環境に適応したり、困難な状況に立ち向かったりする力が、子どもたちに求められます。学園化も第2ステージを迎え、掛川型小中一貫教育の形を模索し、城東中学校区や原野谷中学校区で研究を進めているところです。今後とも各地区における学園化にご協力をお願いします。



横井指導主事

余談ですが、全体会前日、体育館の準備に行くと中体連の大会を直前に控えた東中生の皆さんが一生懸命練習を行っていました。私たち関係職員が準備を始めようとする、部活動を終えたばかりの東中生が、体育館全面へのシート敷き、机や椅子並べなどを率先して大変手際よく行ってくれました。きびきびとした行動、気持ちの良い挨拶に大変感心し、清々しい気持ちになりました。会場準備、片付けをしてくれた皆さんありがとうございました。

# H29年度も『笑顔であいさつ』・『わんわんわん運動』を推進していきます

参加者が居住区を中心として10のグループに分かれて分散会を行いました。共通取組である「笑顔であいさつ」や「わんわんわん運動」について、現状や課題、今後に向けて話し合いました。 ※下記は出された意見からの抜粋

## <分散会報告>

○成果 △課題 □意見

### 「笑顔であいさつ」について

- 地域の子どもたちは、挨拶をすると返事が返ってくる。これまでの取組の成果が出てきている。なかでも特に中学生の挨拶が良い。
- 挨拶を習慣にしていくことが大切。園、学校で挨拶を教えてくれていることの効果が大きい。やはり、家庭、地域、学校で挨拶を大切にしていきたい
- 挨拶をきっかけに会話が始まる。挨拶は「安心感」「親しみ」を生み、「信頼関係」を築く。
- △（小学生の）登校班での朝のあいさつは、返ってこない。
  - 大人が範を示すことが大事。大人が笑顔で挨拶しなければ、子どももできない。
  - 大人は、期待しないでめげずに挨拶を続けていけばいい。大人から挨拶を心掛けていきたい。

**地域で大人から挨拶の声を掛けていこう！**

### 「わんわんわん運動」について

- 学校や園での取組があるので意識しやすい。子どもと話し合うきっかけになる
- 子どもの話したいことを全部話させて聞くことが大切。
- 様々な場面を見つけては話しかけている。
  - （夕飯の時、幼稚園の迎えの車の中、部活動の試合見学、その他のわずかな時間などで）
- 「ただいま」の声で今日の様子がある程度わかる。それに合わせて、タイミング良く声をかけるようにしている。
- 中学生でも、学校の愚痴などを話している。話を聴くことで気持ちが落ち着く。
- 小学校で決めている毎月15日はノーメディアを意識する日になっていて、テレビを消す日になっている。
- △社会のこと・将来のことは、なかなか話せない。
  - 子どもと話せることは発達段階によって違い、社会や将来のことは年齢が上がるに従って話せる範囲が増える。中学生になると進路など将来のことも話せるようになる。
- ※「わんわんわん運動」：「1日に1回は今日の出来事を、1週間に1度は身の回りのことを、1か月に1度は将来のことを家庭で話しましょう。」という活動



分散会での話し合い風景

### その他

- △今まで掛東学園が理解できていなかった。浸透し始めているがさらに啓発が必要
- 子どもの意見を聞く機会を持ちたい。子ども自身に考えさせることも大事にしていきたい。この学園の意義はそこにある。
  - 総合学習（中3）の「区長と語る会」は、今後も続けてもらいたい。
- 子どもは地域の宝物。地域を愛する子どもになって欲しい。地域の中で育つ優しさがあると思うので、みなで子どもたちを優しく見守り育てていきたい。

貴重なご意見をたくさんいただきました。ご多用な中、参加いただいた皆様方ありがとうございました。

# 掛東学園だより

平成29年度10月号  
発行 掛東学園  
(掛川市立第一小学校)

一園学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょう  
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり幼保・すこやか幼保・習光幼・掛川特別支援学校・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

## 毎月23日は、親子読書・わんわんわんの日！

今年度から、親子読書と併せて、毎月23日を「親子読書・わんわんわんの日」として、各家庭でのわんわん運動を推進しています。家庭で決めたあいさつの約束やその振り返りなど、家の人と話したことを毎月記入するための「わんわんわん運動カード」(右図)を活用しています。

今回は、地域の皆さんに支えられ、豊かな体験学習等を実施している内容を紹介します。

わんわんわん運動カード	
目的	
読んだこと	わんわんわん運動の目的
読者の名前	わんわんわん運動の振り返り
読んだ日	読んだ本のタイトル
読んだ場所	読んだ本の感想
読んだ時間	読んだ本の感想
読んだ場所	読んだ本の感想
読んだ時間	読んだ本の感想
読んだ場所	読んだ本の感想
読んだ時間	読んだ本の感想
読んだ場所	読んだ本の感想
読んだ時間	読んだ本の感想

### 1年生〈防犯教室(6月)・防災体験学習(6月)・牛舎見学(10月)〉

防犯教室では、県警察スクールサポーターの森田さんから不審者に出会ったときの対処法を教えてくださいました。防災体験学習では、階段付近にある防火扉を通して外に非難する訓練を、中央消防署の所員の方のお話とともに御指導いただきました。また、学区内で牛を飼育している平野さんの牛舎を見学して、図画工作の時間に牛の絵を描きます。



### 2年〈美術館見学(9月)・のりもの探検(11月)〉

生活科等の学習で学校周辺に出かけます。掛一小の周りには、歴史・文化施設が多くあります。二の丸美術館やステンドグラス美術館では、学芸員の方からの解説を受けながら本物の芸術に触れました。今後は、電車に乗って浜松科学館まで行けるようにするために、掛川駅にも出かけ、駅員さんに電車の乗り方やマナーなどについて学習します。



### 3年〈茶工場見学(6月)・商店見学(9月)〉

学区内にある田中製茶さんの御協力により茶工場見学を実施しました。グループごとに、お茶のできる過程を見せていただきました。また、スーパーサンゼンさんにて、大量の商品を並べるための工夫、安全で安心な商品を守るための工夫など、スーパーマーケットにある様々な工夫を学習しました。



### 4年〈特別支援学校との交流(6月・10月)・福祉学習(9月)〉

毎年、県立掛川特別支援学校小学部の児童との交流を実施しています。6月は、掛一小の児童が掛川特別支援学校を訪問し、10月は、掛川特別支援学校の児童が掛一小を訪れました。お互いに、考えた遊びを通して楽しく交流することができました。また、9月には、車いす友の会の横山さんからのお話を通して、福祉への理解を深める機会となりました。



### 5年〈環境学習(6月)・出前講座(7月)〉

WAKUWAKU西郷の松浦さんをお迎えしての環境講話や静岡大学の奥野先生による放射線の基礎知識出前講座等を実施して、環境についての学習を行いました。



地域の方による登校時の通学路でのあいさつや見守り活動



「まちづくり協議会」の方による防犯パトロール活動

### 6年〈生き方学習(7月)・薬学講座(10月)〉

7月の生き方学習では、県警察スクールサポーターの森田さんからのお話を通して、これからの自分の生活や生き方を見つめることができました。

また、10月には、薬学講座を実施して、学校薬剤師の鈴木さんによる「薬の正しい使い方」の講話等を通して、自分自身の健康について学習しました。



# 掛東学園だより

平成 29 年度 12 月号  
掛 東 学 園  
(掛川市立東中学校)

一園・学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょうー  
(東中、掛一小、上内田小、西山口小、ひだまり幼保、すこやかこども園、智光幼、掛川特別支援学校、掛川工業高、第一地区、第二地区、南郷地区、上内田地区、西山口地区)

## 「笑顔であいさつ」の掛東地域に

### 「笑顔であいさつ」

朝、校長先生やPTAの皆さんと挨拶運動をしています。

挨拶とは一体何でしょう？

まず、挨拶をするためには周りの人を認知する必要があります。歩行者、自転車、自動車、通勤通学のために沢山の人が行き交っています。それらの他者の存在を無視して歩いていると思わぬ事故にあってしまいます。「そこに人がいる。」と相手の存在を認知するからこそ“挨拶”が出来るわけです。

“笑顔であいさつ”これがなかなか難しいものです。相手を認知して「おはよう」と言葉を発することだけでは“笑顔であいさつ”にはなりません。

“笑顔であいさつ”をするためには、相手への気遣いが必要です。相手を思いやる気持ちがないと“笑顔で“になりません。”挨拶“とは単なる言葉の発声ではなく、相手とのコミュニケーションを始めるための手段です。

思春期の中学生には“大人が勝手に決めた儀礼的な挨拶”が“演技”や“偽善”、“嘘”に思えるのかもしれませんが。そんな挨拶をしたくないのなら無理にしなくても良いと思います。彼らには挨拶を強要された記憶よりも、大人から“温かい挨拶をされた記憶”の方が大事だと思います。やがて彼らも大人になります。その時に“大人とは相手を思いやって挨拶するもの”だと記憶していてくれればよいと思っています。

挨拶を交わした生徒全員が幸福な大人になってくれたらいいなと思います。

全ての生徒を均等に“成功”させることは出来ませんが、みんなに自分の“幸福”に気付かせることは出来ると思っています。

自分の周りには沢山の人がいて、その人たちと友人となり”仲良く生きる”ことが出来ると気付くことです。これは、どの道を選んでも、どの場所で生きても、成功しても、成功しなくても得られる“幸福”だと思うからです。

その第一歩として、周りの他者の存在を尊重し、その人を優しく気遣い思いやりにあふれた“笑顔であいさつ”が最適だと思います。



## 地域の皆様の協力をいただき、活動を進めています

### ○総合的な学習の時間「掛川学」

東中では地域を題材にした「掛川学」として、地域の皆様の御協力をいただき学習を進めています。1年生のテーマ「掛川を知る」では、掛川の観光や歴史についての講演を聞き、掛川人の良さや報徳文化、掛川の魅力を学びました。2年生「掛川ではたらく」では、働くことの意義について講話をいただきました。3年生「掛川を考える」では、「区長さんと語る会」にて地区をよりよくするために区長さんと建設的な意見を交換させていただきました。



### ○合唱指導をしていただきました

今年度も、合唱集会では伊達伸子様と竹花秀代様を講師にお迎えし、基本的な発声法などをご指導いただきました。その後も、伊達様と竹花様には合唱中間発表会でも引き続きご指導いただきました。東陵祭合唱の部当日も審査員を務めていただきました。



### ○花壇に綺麗な花が咲いています

今年も体育館前の花壇を、西山口地区福祉協議会ボランティア委員会花壇協力部の皆さんが整備してくださっています。過日、ボランティアの皆さんと環境委員会の生徒が共同で花壇の整備を行いました。現在、色とりどりのパンジーなどの花がきれいに咲いています。



### ○なないろび〜んず公演



11月22日（水）に、西山口読み聞かせボランティア「なないろび〜んず」の皆様による読み聞かせパフォーマンスを鑑賞させていただきました。毎年、生徒たちはとても楽しんでいるとともに、読書への関心を高める機会としています。スクリーンに物語を映し出し、音響効果などの趣向を凝らした読み聞かせで、生徒たちを楽しませていただきました。本年度も感動のステージをありがとうございました。

### ○東中生が地域で活躍しました

- ① 11月19日（日） フェスタ西山口  
西山口小学校出身の生徒が作品を出品しました。吹奏楽部が演奏を披露しました。
- ② 11月19日（日） 南郷文化祭  
吹奏楽部が演奏を披露しました。南郷地区の生徒が、出店のボランティアとして参加しました。
- ③ 12月2日（土） ひかりのオブジェ展  
共同創作部が作品を出品しました。吹奏楽部が開会式で演奏を披露しました。

# 掛東学園だより

平成30年3月号  
掛東学園  
(掛川市立上内田小学校)

一園・学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域子どもたちを育てましょう  
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり幼保・すこやか幼保・智光幼・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

## 今年度も掛東学園の活動に御協力いただきありがとうございました



掛川市の教育の3つの宝(かけがわ教育の日、掛川お茶の間宣言、掛川市学園化構想)として、平成25年度から始まった掛川市学園化構想も5年目を迎えました。

今年度も掛東学園各園、校での共通した取り組みとして、『笑顔であいさつ(あいさつ運動)』と『わんわんわん運動』を行ってきました。学園に属する園・校の保護者の皆様からいただいたアンケートは以下のような結果になりました。

項目	昨年度	今年度
問2：あなたは『あいさつ運動』に取り組んでいますか	57%	61%
問3：あなたは『わんわんわん運動』がどんな活動か知っていますか	55%	82%
問4：あなたは『わんわんわん運動』に取り組んでいますか	31%	54%

※「取り組んでいる」「知っている」など肯定的な回答の%

問5：お子さんとの会話はどんなことが多いですか

「うれしかったこと」「困ったこと」「友達のこと」「学校や先生のこと」が多かったです。

子どもたちが掛東学園を卒業するときは、義務教育から社会に巣立っていくときです。その時に向けて幼少期から発達段階に応じて『今日あったこと』や『身の回り』のことを話せる家庭の中で育ち、だんだん成長するに従って今度は『夢(将来)』を語れるようになり、希望を持って社会に飛び出していける子どもたちであってほしいですね。そして、夢を叶えるためにはやはり周りの人の協力は欠かせません。そんなときに、いつの時代でも、どの世代でも大切なのが『笑顔であいさつ』ではないでしょうか。まさに掛東学園共通の取組は子どもたちが夢と希望を叶えるための基礎づくりをしているのだと思えてなりません。そう言う意味でも数値が向上したということは夢に近づいた子どもが増えたと思って良いのではないのでしょうか。

さて、6/17に東中学校で全体研修会を行い、保護者の方・地域の皆様・教職員が一同に会して有意義な話し合いがもたれました。また、今年度特筆されることとして11/15には西山口小学校で一貫教育研究会が行われ、掛東学園各園・校は子どもの発達段階に応じた『学び合い』『関わり合い』をテーマに研修を深めていくことを共通理解し、各園・校が学力向上に向けて同じ方向を向いてスタートした年となりました。

問1：「あなたは掛東学園子ども育成支援協議会がどんな会か知っていますか。」という問いに、「知っている」と答えた人は62%(昨年度61%)でした。

### 掛東学園への意見・感想(主なもの)

- ・子どもが大きくなって『わんわんわん運動』を続けていきたいです。
- ・掛東学園の運営に携わる皆さんの御意見を聞くことができる会はとても貴重で続けてほしいです。
- ・『わんわんわんの日』は子どもたちも「今日は何して遊ぶ?」と親子の時間を楽しみにしています。
- ・中学に入学するにあたり、他校との繋がりを持てる情報を得られる機会になりうれしく思います。

共通の取組も含め、次年度はさらに広報活動を広め、地域子どもたちの健やかな成長のために、地域の皆様と園・学校が連携して教育活動を展開していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

※来年度も事務局は引き続き西山口小学校が担当します。



# 地域と共に歩む学校!上内田小



上内田小学校児童は地域の皆様の御協力により、今日も『げんきいちばん』で活動しています。

**上内田小の児童は、全学年地域の行事に参加します。**



- 1年生…地区学習センターでの七五三
- 2年生…本校体育館での地区敬老会
- 3年生…本校体育館での地区敬老会
- 4年生…本校体育館での地区文化祭
- 5年生…本校体育館での地区文化祭
- 6年生…地区学習センターでの平和の集い

**上内田地区まちづくり協議会新メンバー部の活動**

- にこじロード（一輪車ロード）拡張工事
- 校庭の排水路設置工事
- 校庭の土入れ
- 緑のカーテン設置
- 樹木の剪定
- 小屋の土盛り
- 兔小屋製作の指導



**地域読み聞かせボランティア「11ぴきのねこ」さんによる毎月の読み聞かせや、クリスマスの特別企画。クリスマスの実演読み聞かせは劇団顔負けの演技!**



**地域の皆様や農協さんによる授業への協力**

- グラウトゴルフ、絵手紙、生け花クラブ
- サツマイモのつるさしや芋掘り
- お茶の生産から淹れ方まで
- デイサービスねねの里訪問
- 上内田の歴史探訪
- しめ縄づくり
- 稲作



**上内田サマースクール**

卒業生も後輩の学習に協力してくれます。夏休みの数日間、中学生が本校児童に勉強を教えに来てくれます。



**こじろうタイム校外編**

世のため、人のためになろうと校内外を清掃するにこじろうタイム。今年度の校外編はガードレール清掃。



上内田小学校は今年度**全国学校体育優良校**を受賞しました。本校は20年以上続く伝統の一輪車(1)の歴史に、にこじろう活動(2)、参加型授業(3)を加えた

**1・2・3の学校**

です。

